



令和5年度 弓削小学校だより 2月号No.1 R6.2.13

学校教育目標

「心豊かに社会を生き抜く力を持った子どもの育成」 校長 松本 幸

心豊かに社会を生き抜く力を持った子どもに成長するために

3つの合言葉で、
子どもたちの成長を
支えています。



バイオリンとピアノのコンサート

2月9日(金)に、バイオリンとチェロのコンサートを行いました。前年度の40周年記念コンサートは、コロナ禍でしたので、児童全員で集まって聴くことができず、やむなく当時の6年生だけの鑑賞でした。今回は、3校時が1～3年生、4校時が4～6年生と2部に分かれて、全学年の児童が聴くことができました。

クラシック、ジブリメドレー、情熱大陸、ディズニー、と様々なジャンルの曲に子どもたちはしっかりと耳を傾け、素晴らしい演奏に聴き入っていました。アンコール曲であるYOASOBI「アイドル」の曲では、歌ったり体をゆらしたりする子どもたちの姿がありました。

普段は、なかなか聴くことのできない生演奏を聴くことができ、豊かな時間を過ごすことができました。



令和5年度学校評価から No.2

評価へのご協力ありがとうございました。

第2回目は、子どもたちと保護者の方からの回答で肯定的評価(3・4)の低かった内容について取り上げてみました。

子どもの回答

	質問内容	%
1	学校が行っている「交流及び共同学習」等は、相互理解につながっていると思いますか。	79.2
2	子どもは、まわりの人を「いやだな」という気持ちにさせない行動ができていると思いますか。	83.3
3	子どもは、だれかに言われた通りにするのではなく、やってよいかよくないか自分で決めて行動することができていると思いますか。	84.4
4	先生は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。	87.4

保護者の回答

	質問内容	%
1	学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。	73.2
2	学校が行っている「交流及び共同学習」等は、相互理解につながっていると思いますか。	73.4
3	学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。	74.8
4	子どもは、だれかに言われた通りにするのではなく、やってよいかよくないか自分で決めて行動することができていると思いますか。	77.7

上表に掲げている項目について少し詳しく見てみますと、「交流及び共同学習」と「自分で決めて行動する」が児童・保護者どちらにも入っていました。「交流及び共同学習」については、「わからない」と回答した人が、児童42人、保護者31人と多くいました。「交流及び共同学習」の意義や取り組みについて学校より積極的に発信していくことが必要だと感じました。「自分で決めて行動する」の児童の回答は、「どちらかと言えばそう思わない」「そう思わない」が昨年度の18人から3人に減少しています。保護者の回答でも18人から2人に減っていました。数は減っていますが、弓削小の3つの合言葉にもあたる「自立する」に向けて、今後も「自分でよく考える」ことを大切にしたい指導をしていきたいと思えます。

学校だより、子どもたちの様子等、学校HPでは、カラーで見ることができます。



弓削小学校ホームページ
QRコード

保護者の回答で1番肯定的評価の低かった「家庭や地域との協力」について、「そう思う」と回答した保護者は、昨年度と比べると、10%台から20%台へと増えていました。授業参観が中止になったりオンラインでの開催になったりしたコロナ禍の昨年度に比べ、本年度は対面による授業参観、学級懇談会や保護者面談を実施できたことの結果が表れているのかと思います。しかし本年度の中では、1番低い評価となっています。懇談会の出席率を上げる工夫をしたり、保護者・地域と連携できる教育活動を探っていったりする必要性を感じています。

児童の回答の中で「わかる授業・楽しい授業づくり」について、児童の11人が「そう思わない」と答えていました。全ての児童にとってわかる授業・楽しい授業になるために、学校全体で授業改善に向けて取り組んでいきたいと考えます。
ご協力いただきました学校評価の結果を受け止め、今後の教育活動に生かしていきます。